

2015. 2. 6

名古屋市長 河村たかし様

相生山の四季を歩く会  
ラブリーアース Japan  
事務局 古川善嗣  
名古屋市南区豊 4-22-10  
tell/fax 052-821-6463

市道弥富相生山線の事業廃止にあたっての意見書

—— 昨 12 月 26 日公表「相生山について」を受けて

1. 道路事業廃止のご判断を歓迎し、断固支持します。
  - 1) 「産業優先で道路を造って来た名古屋の町に、自然を大事にしようという精神でいこうと、それが根本」(記者会見時のご発言) は中長期の市政の基本だと思います。
  - 2) 「決まったことだからやる、という硬直した姿勢は改めんといかん」(市議会などあらゆる場面でこれまで主張されてきたこと) を堅持されたことは大多数の市民の期待に応えるものです。
  
2. これまでのさまざまな経緯、調査の上にたつての首長の決定です。

行政の総力で、すみやかに実行に移されることが当然、と市民は願っています。

  - 1) 市長は引き続き陣頭指揮を執り、人事・担当専門機関設置など、具体的な指示をお願いします。
  - 2) 都市計画審議会への諮問案作成が最優先課題と思われれます。問題点の把握・スケジュールの立案などの検討を、前項の部署で始めさせてください。
  - 3) 住宅地への通過車両入り込み対策など、地域住民への説明会を名古屋市主催で開催するよう、手配してください
  
3. 市長の提案中、以下は慎重に再検討ください。
  - 1) 「自然を大事にする」なら、「園路」であっても、新たに相生山緑地を貫通する道路を建設すべきではないと考えます。

「緊急車両通行」については、再調査ください。なし崩し的に道路建設を呼び込む恐れがあります。
  - 2) 公園構想では、現状のすばらしい自然＝生態系をどう生かすのか、このことを先ず考慮すべきであると考えます。

「世界に誇る AIOIYAMA」は既に存在しています。新たな「公園施設」に投資せずとも「建設途中の都市計画道路を廃止した」輝かしい事実こそが、何より世界に誇る私たちの宝ものになると確信しています。

以上